



## 「あきたのそこちから」に学ぶ

# 学校経営案をもとに、目指す方向を合わせる！

今年度1年間、秋田県大館市立城南（じょうなん）小学校へ、派遣されている柴田和徳指導教諭のレポートをもとに、城南小学校や大館市を中心に、秋田県における取組を定期的にお伝えします。柴田指導教諭は6年部及び学習指導部に所属し、主に5年生及び6年生の算数のTT指導にあたられています。第1号は、全ての教職員が目指す方向を合わせて、新年度のスタートを切るための取組を紹介します。

### 秋田県の教育の目指す姿について（秋田県教育委員会HPより）

**ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり** ～みんなでつくろう「教育立県あきた」～

秋田の子どもたちが、将来、自立した社会人として、県の内外において、ふるさとと関わりをもちながら、自らの志や目標に向かって明るくたくましく生き、ふるさと、そして社会を支えていく、そのような姿の実現を目指します。

### 秋田県大館市立城南小学校について

秋田県の北部に位置する大館市は、青森県に接しており、「忠犬ハチ公」の生誕地であり、秋田犬が有名な地域です。

城南小学校の全校児童は341名（14クラス）で、教職員数は40名です。



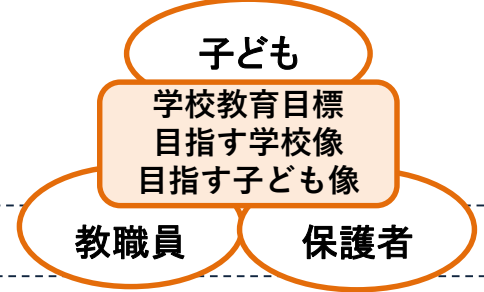
○**学校教育目標** 「ふるさとに学び、どの子どもも喜んで活動する学校」

○**目指す学校像** 「一人一人が自分自身の幸せを支える力を高める学校」「保護者や地域に信頼される学校」

○**目指す子ども像** 「互いのよさを認め合いながら、進んで学び、共によりよく生きていく子ども」

#### ○城南っ子の基本3行動

- 「1 いつでも 姿勢正しく、相手の話に反応します。」
- 「2 どこでも 安全に気を付け、命を守ります。」
- 「3 だれにでも 自分からよいあいさつをします。」



### 柴田指導教諭のレポートより

#### 教職員と児童、保護者が、学校経営案をもとに目指す方向を合わせる

○**教職員に向けて** 第1回職員会議において、校長先生が、今年度の学校経営についてパワーポイントを用いながら約30分間、翌日には運営構想について約30分間説明を行った。その後の協議では、校長先生が示した今年度の合言葉「Nice Try! を大切に」のもと、「成否は問わず、挑戦した事実をしっかりと認めていく」学校・学年・学級運営を目指し、職員が「OneTeam」となり組織的な改善にどう取り組んでいくかが話し合われた。校長先生の思いを受け止めた上で、組織的に課題解決に取り組む風土が根付いていると感じた。

○**児童に向けて** 6年生の学年開きでは、始業式で校長先生が示された合言葉の確認を通して、最高学年としての自覚を促していた。また、今年度から変更される時程を担任から伝達するのではなく、児童に発見させ、お互いその内容を確認させる方法が取られるなど、相互指名や相談の習慣を必然的に身に付けさせる取組が日常的になされている様子がうかがえた。

○**保護者に向けて** 校長先生から「令和2年度の学校経営について」と題したお便りが出され、今年度の学校経営方針について、丁寧に理解と支援が呼びかけられていた。

また、参観授業後の各学年懇談会で使われる保護者向け資料も、学校経営案をもとに作成されており、どの学年の資料にも、学校教育目標、目指す学校像、目指す子ども像、「城南っ子の基本3行動」が明示してあった。保護者と 同一歩調で目標達成に向けて進んでいこうとする学校の姿勢が感じられた。